

令和4年9月30日
子供の読書活動推進に関する有識者会議(第4回)資料

小中高校生の不読率について

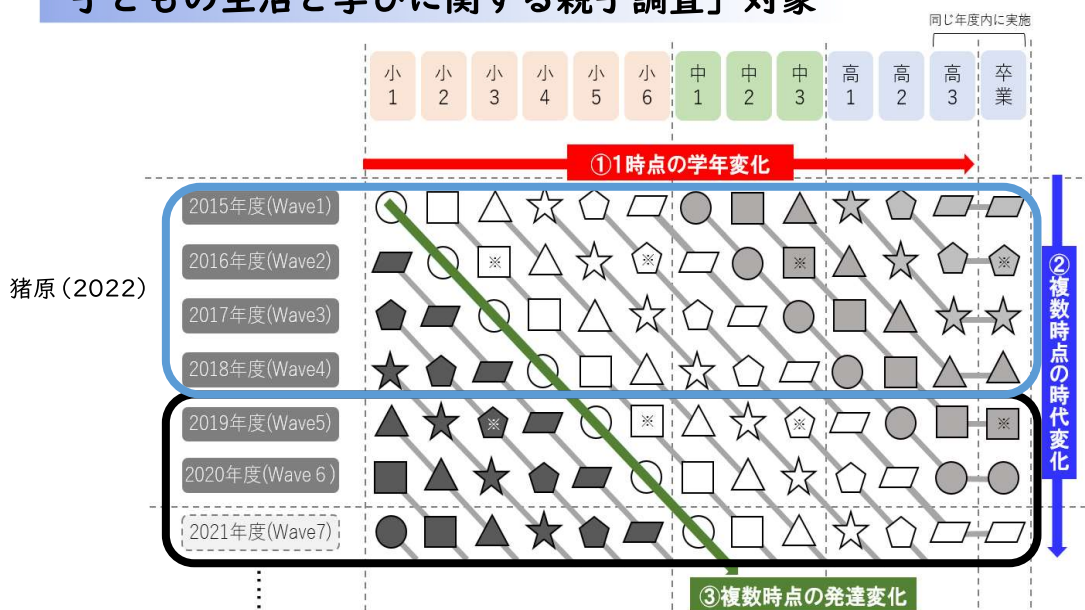
群馬大学 濱田秀行

本資料は、濱田秀行・秋田喜代美(2022)「小中高校生の読書活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響:不読率に着目して」『第66回日本読書学会大会発表要旨集』pp.138-147を基に作成し、大会の発表時に使用したものである。

本研究は、東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学びに関する親子調査」の共同研究メンバーである第2著者(秋田)とその共同研究者である第1著者(濱田)が、ベネッセ教育総合研究所からデータの提供と分析の了解を得て実施したものである。

今回は、2019-2021年の最新3か年の1次データに焦点を当てている。

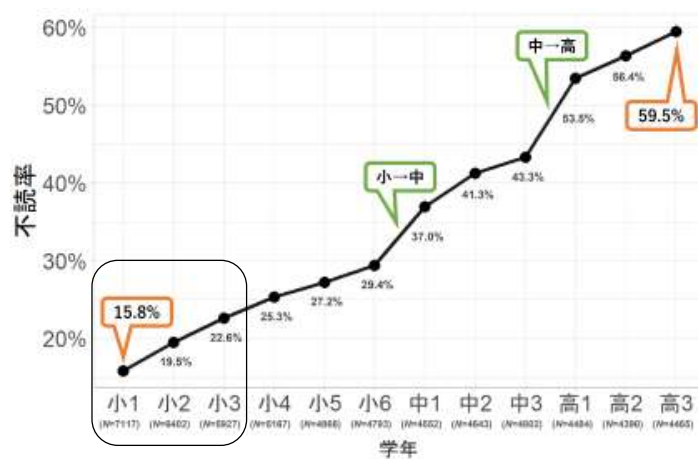
「子どもの生活と学びに関する親子調査」対象



3

パネル調査データ(「子どもの生活と学びに関する親子調査 2015-2018」)における「不読者」の割合(猪原, 2022)

- 学校外で本を読まない不読者の割合は、第66回学校読書調査(2021年実施)の不読率より高い。
- 小学校1年生でも15.8%は不読
- 学年による不読率の単調増加
- 学校段階による不読率の加算的影響

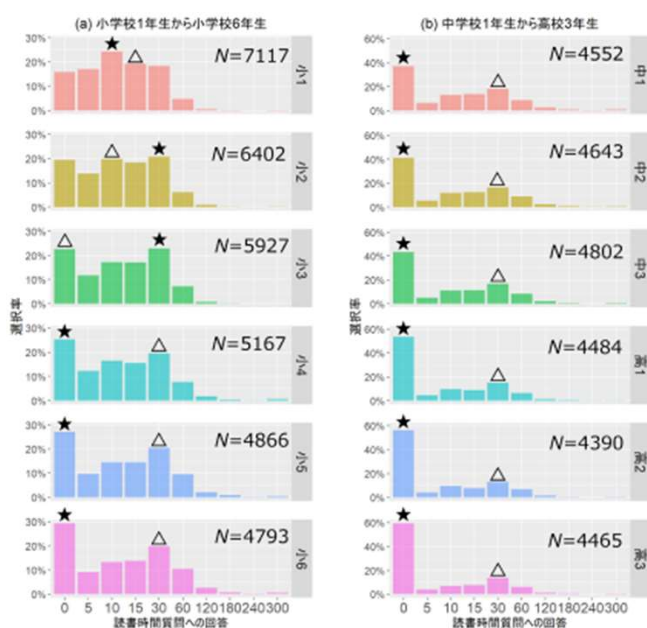


※不読者:「あなたはふだん(学校がある日), 次のこと(「本を読む」)を, 1日にどれくらいの時間やっていますか。学校の中でやる時間は除いてください。日によって違うときは, 平均してだいたい時間を教えてください」に対して選択肢「しない」と回答した児童生徒

4

パネル調査データ(「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2018」)における「読書時間」(猪原, 2022)

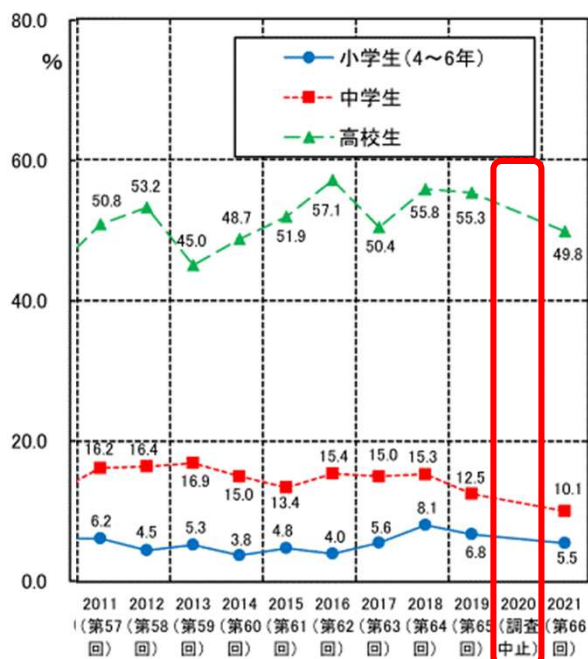
- 小学校3年生までは「10分」あるいは「30分」を学校外で読む児童が最多(★)
- 学校外の「不読」が最多(★)となる傾向は小学校4年生から
- 不読者が最多であっても、一方で1日平均30分程度は学校外でも読書をする層も一定数は消えずに存続(△)し続ける(二峰性)



https://berd.benesse.jp/sp/childedu_researcher/childedu_researcher02/index.php

全国学校図書館協議会・毎日新聞社「学校読書調査」における不読者の割合

全国的に臨時一斉休校だった2020年度の調査は中止



※「不読者」:5月1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒

<https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html>

新型コロナウイルス感染症と 子どもの学習意欲

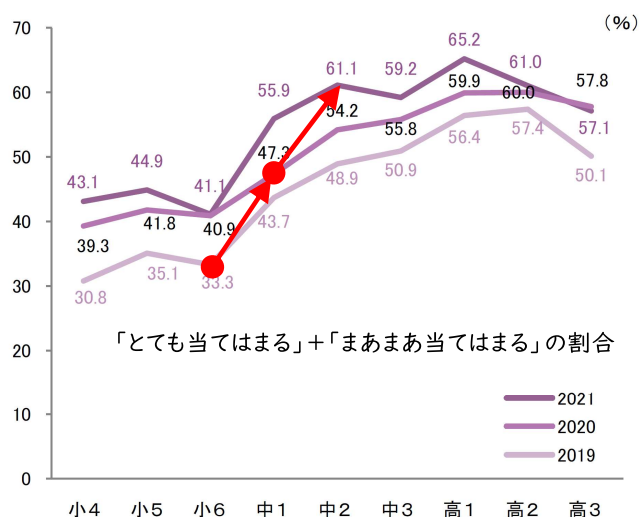
2019→2020→2021

小・中学生において
「勉強しようという気持ちがわか
ない」児童生徒の割合が増加

2019年度の小学校6年生

33.3%→47.3%→61.1%

勉強しようという気持ちがわからない(学年別)



https://berd.benesse.jp/up_images/research/oyako_tyosa_2021.pdf

7

2019年から2021年における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が小中高校生の読書活動に対してどのような影響を与えたのか？

1. 2019年, 2020年, 2021年の学年別不読率
2. 読書活動への取り組みの変化
3. 小学校1年生の読書活動に影響を与える要因
4. マンガや雑誌についての読書活動の実態



8

調査方法

- 2019年, 2020年, 2021年の7-9月
- 全国の小学1年生から高校3年生の子どもとその保護者(小学1~3年生は保護者が回答)
- 郵送による自記式質問紙調査・Web調査(一部対象者のみ)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
2019年	1,740	1,732	1,703	1,492	1,379	1,200	1,136	1,032	1,000	967	970	955	15,306
2020年	1,884	1,596	1,647	1,563	1,472	1,372	1,155	1,128	1,040	921	916	952	15,646
2021年	1,707	1,779	1,580	1,502	1,516	1,412	1,280	1,098	1,055	953	851	865	15,598

9

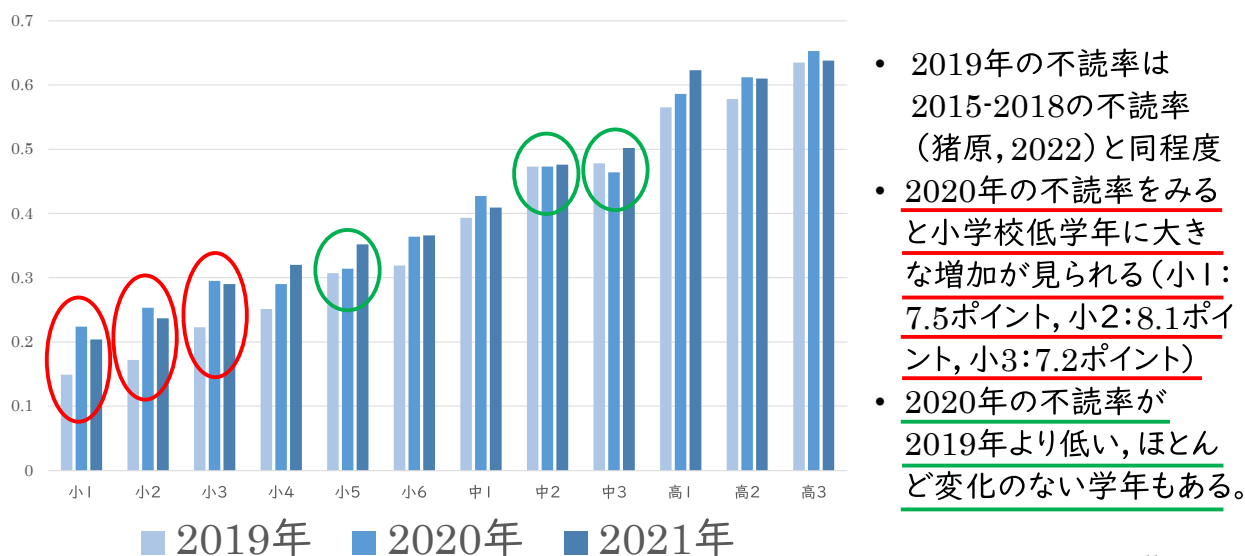
調査項目

読書活動の実態について

- 「あなたはふだん(学校がある日), 次のことを, 一日にどのくらいの時間やっていますか。学校の中でやる時間は除いてください。日によって違うときは, 平均してだいたいの時間を教えてください。」
- 「本を読む」「マンガや雑誌を読む」など15項目(小学校1, 2年生については12項目)
- 「しない」「5分」「10分」「15分」「30分」「1時間」「2時間」「3時間」「4時間」「4時間より多い」から選択

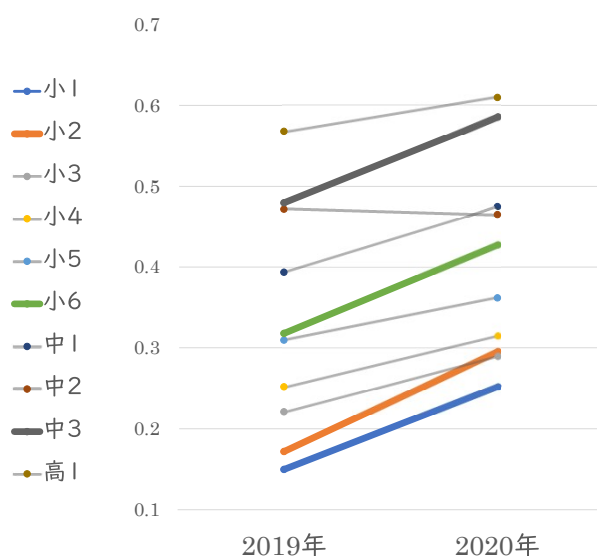
10

2019年, 2020年, 2021年 学年別不読率



11

2019→2020の不読者割合の経年変化



2019年→2020年(※2020年3-5月全国一斉臨時休校)で10ポイント以上不読率が高まった学年集団

小1, 小2, 小6, 中3

- 自宅学習の難しい小学校低学年
- 校種間移動を行った学年

影響 **大**

12

児童生徒の読書活動への取り組みの変化

		2020				
		1	2	3	合計	
2019	1	度数 2780	699	401	3880	2019年の不読者のうち71.6%が不読のまま。28.3%が読書を行うように
		% 71.6%	18.0%	10.3%	100.0%	
	2	度数 1529	2282	1029	4840	
	% 31.6%	47.1%	21.3%	100.0%		
	3	度数 550	996	1927	3473	30分以上読書していた者のうち、15.8%が不読に、28.7%が5-15分読書するように
		% 15.8%	28.7%	55.5%	100.0%	
合計		度数 4859	3977	3357	12193	全体では 25.2%が読書時間 減 17.5%が読書時間 増
		% 39.9%	32.6%	27.5%	100.0%	

グループ1:「0」(不読),グループ2:「5分」「10分」「15分」,グループ3:「30分」以上

13

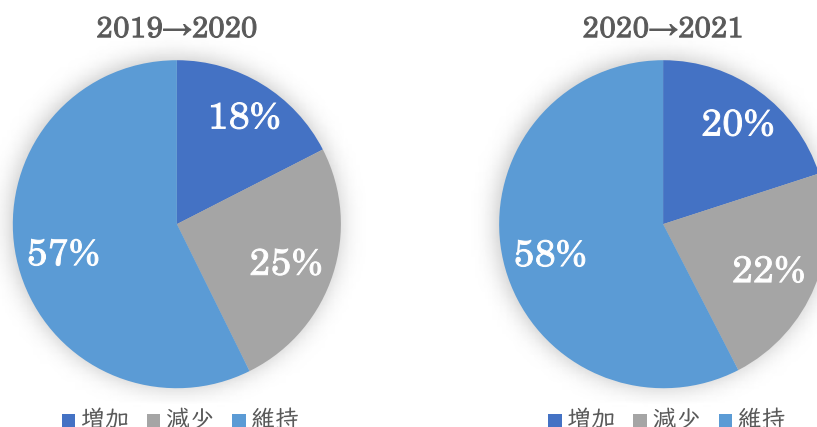
児童生徒の読書活動への取り組みの変化

		2021				
		1	2	3	合計	
2020	1	度数 3086	944	429	4459	2020年の不読者のうち69.2%が不読のまま。30.8%が読書を行うように
		% 69.2%	21.2%	9.6%	100.0%	
	2	度数 1369	2171	1130	4670	
	% 29.3%	46.5%	24.2%	100.0%		
	3	度数 580	861	1954	3395	30分以上読書していた者のうち、17.1%が不読に、25.4%が5-15分読書するように
		% 17.1%	25.4%	57.6%	100.0%	
合計		度数 5035	3976	3513	12524	全体では 22.4%が読書時間 減 20.0%が読書時間 増
		% 40.2%	31.7%	28.1%	100.0%	

グループ1:「0」(不読),グループ2:「5分」「10分」「15分」,グループ3:「30分」以上

14

年度進行に伴う読書活動の変化



- 半数以上が学年進行に関わらず読書活動を変化させていない。
- 2019→2020の年度進行において読書活動を減少させた児童生徒の割合は2020→2021に比してやや高い。

15

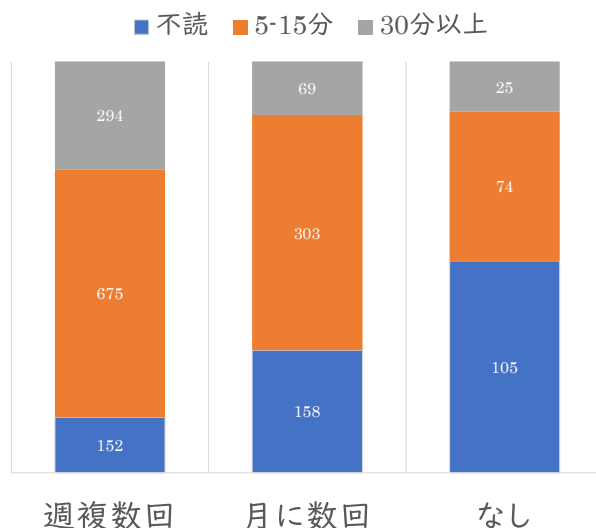
年度進行に伴う不読者の移動（学年別）

2019→2020							2020→2021						
2019	小1	小2	小3	小4	小5	小6	2020	小1	小2	小3	小4	小5	小6
N	1507	1504	1423	1327	1224	1017	N	1659	1459	1393	1372	1304	1183
新規不読	240	254	253	210	206	205	新規不読	196	186	210	222	211	197
%	15.9%	16.9%	17.8%	15.8%	16.8%	20.2%	%	11.8%	12.7%	15.1%	16.2%	16.2%	16.7%
新規読者	73	73	141	119	140	87	新規読者	166	122	172	152	146	135
%	4.8%	4.9%	9.9%	9.0%	11.4%	8.6%	%	10.0%	8.4%	12.3%	11.1%	11.2%	11.4%
増加した不読者	167	181	112	91	66	118	増加した不読者	30	64	38	70	65	62
%	11.1%	12.0%	7.9%	6.9%	5.4%	11.6%	%	1.8%	4.4%	2.7%	5.1%	5.0%	5.2%

- 2019→2020の学年進行に伴う不読者の増加は、2020→2021のそれよりも割合が大きい。
- 特に、小学校低学年と校種間移動のあった小6において違いが大きい。
→小学校低学年、中学校1年生に対して進級後4～7月に学校で行われる読書指導が不読者の増加を抑える可能性が示唆される。

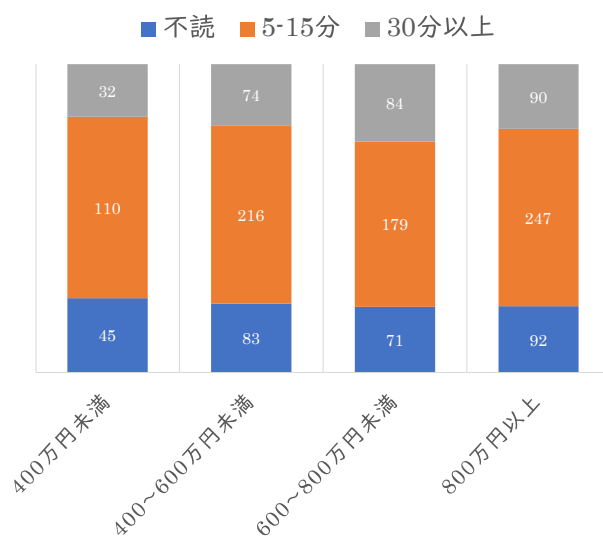
16

2020年の小学校1年生の不読率に小学校入学以前における家庭での読み聞かせがあたえた影響



- 有意な人数比率の偏り
($\chi^2=184.94$, $df=4$, $P<.001$)
- 読み聞かせが週に複数回のグループの不読率は13.6%
- 読み聞かせが月に数回のグループの不読率は29.8%
- 読み聞かせを行わなかったグループの不読率は51.5%

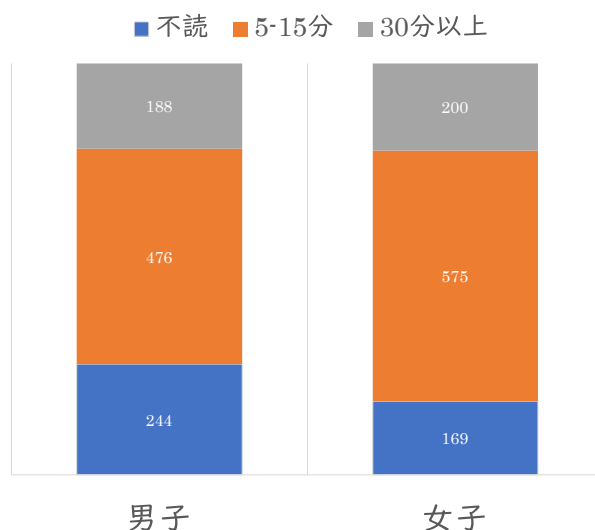
2020年の小学校1年生の不読率に世帯の収入があたえた影響



有意な人数比率の偏りなし
($\chi^2=5.66$, $df=6$, $n.s.$)

世帯収入は小学校1年生の不読率には影響を与えていない。

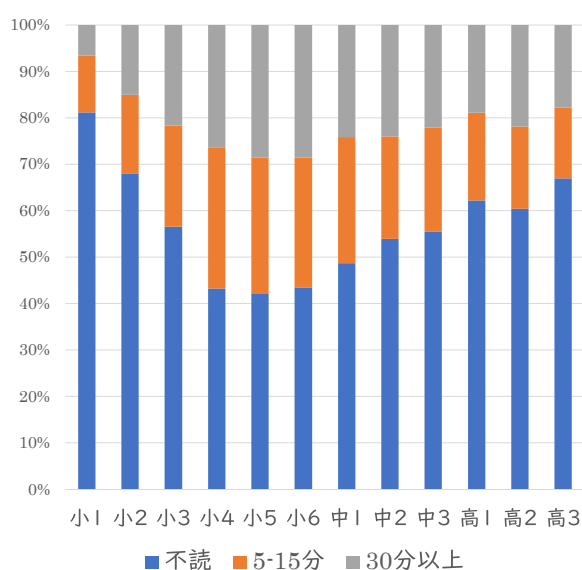
2020年の小学校1年生の不読率における男女差



- 有意な人数比率の偏り
($\chi^2=22.63$, $df=2$, $P<.001$)
 - 残差分析の結果, 不読者の割合に有意差(調整済み残差 ± 2.9)
- 男子の不読率は26.9%
女子の不読率は17.9%

19

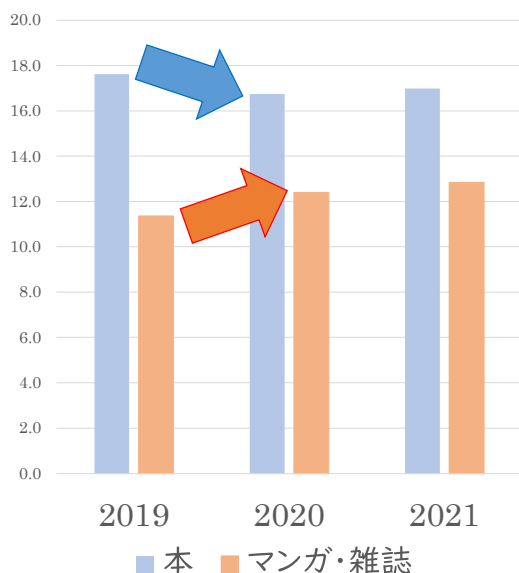
学年別で見たマンガや雑誌の不読率(2019-2021)



- 小学校1年生8割程度が不読
- 小学校2年生7割程度が不読
- 小学校の高学年になると不読率が低下
- 中学校1年生より上の学年では不読率が高くなる傾向
- 学年によって単調増加する本の不読率とは異なる傾向

20

2019→2021 における読書時間の变化



- 全国臨時一斉休校を経て児童生徒は「本」を読まなくなった
 ※不読率:34.4%→38.1%→38.5%
- その一方で「マンガや雑誌」を以前よりも読むようになった
 ※不読率:58.3%→56.4%→56.9%
- 「本を読む(分)」と「マンガや雑誌を読む(分)」の相関係数
 2019年 $r = .43$ ($P < .001$)
 2020年 $r = .41$ ($P < .001$)
 2021年 $r = .43$ ($P < .001$)

21

2019年から2021年における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が小中高校生の読書活動に与えた影響

1. 影響の在り方は学年によって異なる(スライド11)。小学校低学年, 学校間を移動した学年への影響大(スライド12, 16)
2. 学年進行において半数以上が前年同様の読書活動を維持。読書量を増加させる児童生徒と減少させる児童生徒が存在。前者の割合は全体の2割程度(スライド13-15)
3. 小学校1年生の読書活動に対して入学前の読み聞かせの頻度が影響を与えている(スライド17)。その一方で世帯収入と読書活動の関連はみられない(スライド18)。不読率に男女差が認められる(スライド19)。
4. マンガ・雑誌の不読率は小学校低学年では7-8割と高く, 小学校4-6では4割程度となって底を打ち, 高校生になると6割を超え, 本の不読率と同程度の水準に(スライド20)
5. 2019年から2020年における年度進行において児童生徒は本を読む時間を減らした一方で, マンガや雑誌を読む時間を増やした(スライド21)
6. 本を読むこととマンガや雑誌を読むことはトレードオフの関係ではなく, 本をよく読む児童生徒は, 漫画もよく読んでいる傾向(スライド21)

22